ヲ列ス、但シ十五日、一日ハ休務期間ヲ四日トス。
冗員ハ徒ニ勤勉ノ美風ヲ損シ、将来憂慮スベキ結果ヲ招来
セムトモ保シ難シ。此ノ際休務制度ヲ設ケテ、能ク遊ビ能ク働ク
美風ヲ養成センコトヲ期ス。勿論本制度ノ為メ職工諸君ノ収
入減ハ非常ニ気ノ毒ナルモ会社ノ業況世況ノ一般ニ鑑ミ諒トサレタシ
而モ収入減ノ如キモ大ナル割合トハ称シ難キヲ以テナリ。
休務制度ノ実行トナルニハ皆勤手当制度ヲ廃止スルハ是迄従来ノ
精勤者ニ対シ気ノ毒ノ至リナルモ日常冗員ニ苦シミテ他面連続精
勤スルガ如キハ無意味ニシテ且ツ休務期間ハ皆勤ニ差支ヘキ取扱ヒ
トナリ、従来ヨリモ一層皆勤容易トナルベキヲ以テコノ主旨ヨリ
此際皆勤賞ハ一ケ月ニ出来ルニ日限リ三ケ月連続皆勤制ヲ
廃止スル次第ナリ。

現在ノ処右マデノ情報

（他）

太田紙布製造工場外五工場　労働争議

所在地　富山県[illegible]町

従業員　計百二名（女ナシ）

争議参加人員　全員

発生日　十二月二十七日

終結日　十二月二十九日

争議発生ノ原因

（遠因）十日頃斯業好況ニ際シ職工側ノ賃金値上要求ニ対シテ
事業主側従来ノ反ノ十銭ヲ九十銭ニ値上承認シ尚好況持
続ノ場合ハ更ニ十銭値上スベキ旨言質ヲ与ヘ[illegible]（事業主協定）

3. 1. 20
4609